

リスナーの皆さん、
明日からもがんばっぺ。

全員しろうとの
小さなラジオ局が起こす
奇跡の物語。
涙と笑いと感動の
ドキュメンタリ！。

一人ひとりの力は
小さいけれど、
みんな集まれば奇跡が起きる。



ガレキとラジオ

ナレーション 主題歌
役所広司 「トビラ」 MONKEY MAJIK 

監督：梅村太郎 塚原一成 撮影監督：久保健志 編集：田島直子 音楽監督：内山雄介 (otoco) 作曲：内山廉
エグゼクティブプロデューサー：山国秀幸 企画プロデューサー：須賀大観 制作プロデューサー：乾雅人 ラインプロデューサー：藤永光太郎
プロデューサー：岡岡奈緒子 志賀司 勝山嘉之 Coプロデューサー：金延宏明
製作：ワンダーラボトリー 企画・制作：博報堂/博報堂プロダクツ 制作協力：FOLCOM 協賛：セレモニー/ラ・ポア・ラクテ
後援：観光庁/宮城県/南三陸町 配給・宣伝：アルゴビクチャーズ ©映画「ガレキとラジオ」製作委員会
www.311movie.com

感動と勇気を呼び起こす、小さな町のラジオ局の物語。



この記録映画が、日本だけでなく、世界中に笑顔の輪を広げ、東北の復興の力になるよう祈ります。この企画に参加できて幸せです。

役所広司 スペシャルサポーター / ナレーション

仙台に住む我々にとっても震災後にラジオが果たした役割は人と人をつなぐ生命線でした。本当に大きな被害を受けた中、「FMみなさん」の方々の前向きな活動、そして想いに胸を打たれました。ひとりでも多くの人がこの作品を見て、それぞれに「何か」を感じてくれる事が南三陸のみならず、東北の復興に繋がっていくと思います。

MONKEY MAJIK 主題歌

南三陸町のイベントに参加し、住民の方々から沢山気付けていただきました。この映画が一人でも多くの人に観てもらえますように!

はるな愛 劇中イベントゲスト

自分たちもあの大きな災害の渦中にありながら、人々を助け、力づけることを続けてこられた「FMみなさん」一人一人の姿に胸が熱くなります。

吉田戦車 漫画家

倒れても、倒れても、明日に生きる。過酷な中から、人と人の心がつながり、一歩ずつ歩みます。人間ってすごい! 生命は力強い!

土屋アンナ モデル / アーティスト

「ラジオはリスナーに寄りそう存在」といつも思っていました。でも今まで私がやってきたことは「FMみなさん」の9人のスタッフの足元にも及ばなかった。ここには本当の意味で「寄りそうラジオ」が流れていたのです。

上柳昌彦 ニッポン放送チーフアナウンサー

家はない、経験もない。でも明日はある…はず!

東日本大震災から約2ヶ月、60%以上の世帯が罹災し8000名以上が避難生活を送ることになった宮城県沿海にある南三陸町に、災害ラジオ局「FMみなさん」は生まれました。体育館の隅でマイクに向かうのは、元・サラリーマンでリーダーの工藤さん、元・ダンブ選手でシングルファーザーの和泉さんをはじめ町内で暮らす男女9人。時給840円のれっきとした「お仕事」です。でもラジオ経験者はゼロ! 生放送中に大事なコメントが流れなかったり、和泉さんに至っては反抗期の息子さんから「向いていない」と言い渡されてしまう始末……。とはいえクヨクヨしてもしょろがない。クリスマスにはモミの木で点灯式で町に光をともし、仮設だけで商店街も復活。慣れ親しんだ地元で暮らし続けるリスナーとともに、オンエアは日々続きます。年が明けて2012年。「FMみなさん」メンバーは、この町のために、もっともっと何か出来ないかと考えます。被災地だからこそ、この町にはもっと笑顔が必要。そしてその思いはある奇跡を生む——。かけがえのない人や思い出との別れは誰にもいつかおとすれるもの。その痛みを抱えながら、それでも生まれ育った土地で迷い、泣き、笑うラジオクルーとリスナーの人生は、明日に向かって歩き続ける、私たち自身の物語でもあるのです。



監督：柳村太郎 脚本：原一朗 撮影監督：久保誠志 編集：田島直子 音楽監督：内山謙介 (otoco) 作曲：内山謙
 エグゼクティブプロデューサー：山岡秀幸 企画プロデューサー：須賀大輔 制作プロデューサー：乾羅人 ラインプロデューサー：藤永光太郎 Coプロデューサー：金延宏明
 プロデューサー：岡崎麻希子 総監修：藤山隆之 製作：ワンダーラボトリー 企画・制作：博報堂/博報堂プロダクツ 制作協力：FOLCOM 総務：セレモニー/ラ・ポア・ラクト
 配給・宣伝：アルゴピクチャーズ 後援：朝光庁/宮城県/南三陸町 ©映画「ガレキとラジオ」製作委員会 www.311movie.com

平成25年12月8日(日)13時~(開場12:30) 岡山大学創立50周年記念会館
 上映会終了後(14:30~15:40)トークセッション(被災地や防災をかんがえる円卓会議)
 ゲストおやかまパトン(これまで夏・冬休みに被災地の子どもを5度岡山に招待した学生・教職員グループ。OKAYAMA AWARD2012学生賞受賞)
 ○チャリティーサンタ(サンタを通じて世界の子どもたちに支援。今夏、被災地の子どもを岡山へはじめて招く)
 ○勝山嘉之「ガレキとラジオ」製作 事業開発部長で岡山大学卒業生)

併設展示：佐藤信一「南三陸から 写真展」(南三陸町写真館 佐良スタジオ店主)
 この事業は、岡山大学地域総合研究センターまちなかキャンパス事業の支援を受け実施する事業です。
 お問い合わせは・・・「ガレキとラジオ」岡山大学上映会&災害について考えようプロジェクト事務局(荒木(岡山大学財務企画課) TEL:086-251-7061(月~金)

入場無料

※会場には被災地の子ども達を支援する募金箱を設ける予定です。任意でのご協力をお願いします。